

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒464 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 竹内真三

No. 40 (1983~1984)

みんなにロータリーを —— みんなに奉仕を
Share Rotary —— Serve People

1983~84年度RI会長 ウィリアムE. スケルトン

第84回例会 昭和59年4月17日(火)晴

◇“我等の生業”

◇出席報告

会員 53(54)名 出席 38名
出席率 71.70 %
前回 4月10日 (修正出席率) 100 %
make up
秋山君(4/13北), 青山君(4/14守山), 原君(4/12
東南), 林君(4/11和合), 加藤(正)君(4/14守山),
久保田君(4/11和合), 黒野君(4/5瑞穂), 松藤君
(4/10富山), 水野(賀)君(4/16空港), 鈴木(正)
君(4/12東南), 手島君(4/11和合), 都築君(4/11
和合)

◇ビジター紹介 6名

◇誕生日祝福

手島君(4/8), 菊池夫人(4/21)

◇ニコボックス

武内君(開局15周年記念式典と交響曲“名古屋”発表演奏会がお陰様で無事終了しました)。小坂井君(初孫が小学校に入学しました, 又本日卓話の機会を頂きましたので), 菅原君(邦泳スイミングスクール浜松オープンしました), 松藤君(名古屋市総合体育館の設計コンペに当選をさせて頂きました。又邦泳スイミングスクール浜松の設計監理無事完了しましたので, 水野(賀)君(ホームクラブ御無沙汰して申しわけありません), 原君(おかげさまで創業50周年を迎えました), 矢野君(「中日新聞を読んで」が掲載されましたので), 和田君(長女が中学校, 次女が幼稚園へ入学入園しました), 菊池君(社会奉仕活動の反省会を開き, 今後の活躍を改に誓って), 手島君(誕生祝), 菊池君(夫人誕生祝) 杉山君(結婚記念祝), 和田君(結婚記念祝), 小

坂井君(結婚記念祝)

◇三輪幹事報告

1. 次回例会終了後, 理事会を行いますので理事役員の方は2F橋の間にお集り下さい。
2. 尾張中央RCの認証状伝達式が5月6日(日), 名古屋都ホテルにて開催されます。現在15名の出席となっておりますが, 未返事で出席希望の方は至急事務局までお知らせ下さい。
3. 5月より千種区内で住居表示の変更が行なわれます。事業所・自宅の変更がある方は至急事務局まで御連絡下さい。

◇新入会員紹介



氏名 浅井 誠寿 君
生年月日 昭和7年6月1日
事業所 学校法人 市邨学園
千種区北千種3-1-37
TEL 721-0161
地位 常勤理事
自宅 中川区長良町2-85
推薦者 大谷 和雄
職業分類 女子教育
委員会 親睦活動

◇会員長期欠席のお知らせ

当会員の河合君が, 病氣療養のためしばらく例会を欠席されます。理事会においても長

期欠席が承認されました。

◆竹内会長挨拶

以前にもお話しましたが、『体外受精』に可成の成果がみられる様になりオーストラリアでは遂に「冷凍受精卵」による受胎分娩例が紹介され猶類似の症例が時間の経過をまって次々と報告される様であります。

「妊娠」という現象には大別して『受精』と『受胎』と2つのメカニズムをクリアせねばなりません。『受精』即ち精子と卵子の出会いが無ければ受精卵は出来ませんし、折角出来ても受精卵を育成するための哺育器即ち子宮への『受胎』が円滑でなければ又卵は育ちません。且つ又この『受精』と『受胎』の間には密接な関係があって未だ解明されぬ因子が多く存在します。体外受精児症例がポツポツ発表される様になったといってもその成功率は10%前後というのが未解明因子が多い事を裏付けております。然しそうした不明因子も解明されるのは時間の問題です。

その矢先の『冷凍受精卵』による体外受精児の発表です。現在我が国では夫婦間にしかこの技術を施行していない筈ですが、『冷凍受精卵』の開発は『受精即受胎』と密着して考えられていたものを『受精』は受精単独、『受胎』は受胎と単独で受精とは切り離して考える様になります。即ち“どういふメカニズムで受精させるか”という事も又受精卵の冷凍技術の開術によって“その受精卵をいつ受胎させるか”の問題も従来神の摂理のペールの中の事と思われてた事柄がこうした生殖技術者の手中に握られることになりました。

更に技術が進められその簡易化と普遍化が進みますと必然的に哲学・宗教・社会・道徳の問題が大きく提起されて来るでしょう。

「フォーカス」誌に“最も古い職業と最も新しい職業”というタイトルで5名の婦人の写真が掲載されてきました。古い方は“売春婦”の事ですが、新しいというのは、“出産婦バンク”と名付けています。私に言わしむれば胎の貸し借りをするので“売胎婦”とでも申せましょうか。彼女等を非難する事は簡単ですがそれは的はずれというもので、科学の美名のもとに人工培養器、人工保育器の延長線上の存在として天然保育器として利用されておるのに過ぎないからです。

『生母』、『養母』の観念も今に変わるであります。従来様に生んで呉れた親を無条件で実母と思っていると豈はからんや所謂血筋としての母とは丸で別であったという事になりかねません。冷凍受精卵の出現は、精子も卵子も排出した元の男女とは無関係に独り歩きしその育つ場所も精子とも卵子とも縁もユカリもなく成育いたします。私にはこうした進歩は少しも愉快に感ぜられぬのです。更に大切な事は冷凍受精卵という存在は今日大進歩を遂げつつある“遺伝子操作”の対象に容易になり得るという事です。“遺伝子”も「ハイブリッドとうもろこし」とか「ハイブリッド米」のうちは大変に結構

ですが、科学者すべてが叡智をもっているわけではありませんので、功名心にはやって研究対象を“ヒト”にしないとの保証はありません。

「クローン」の研究も進んでおりますが、医学の面での進歩は素人では中々理解出来ませんから特殊な研究者、特殊な技術者の開発する新発見は用い方によって如何に優秀なものであったとしても、「科学のもたらす二面性」即ち人々への貢献と功罪相半ばし、又人類へ幸福と同時に不幸をもたらす両刃の劔である事を決して忘れてはならないと申し上げたいのです。

◆講演

“秒進分歩のO.A電子情報機器とその対応について”

会員 小坂井 盛雄君



日新月异と言うより秒進分歩ともじる程にO.A機器の進歩発展は実に目覚ましいものがあります。

これは産業界のニーズもありましたが、5年程前に事務機メーカーや、電機・通信機メ

ーカー等が、それぞれに独自のO.A戦略を打ち出したのが始りです。色々なO.A機器を競って世に送り出して来ましたが、肝心の機器の方は今一つと云うところでした。

しかしO.Aメーカーは折柄の低成長・スタグフレーションの中でその規模の大小を問わず、その生き残りをかけての激しい競争と

押し寄せる大きな時代の流れや、日々の情報の洪水にもまれ続けて、何とかしなければと模策する企業経営者をして、オフィスのO.A化が急務であり、その効率化が最後に残された合理化の分野なのだと言う認識を植えつける事にはどうやら成功しました。

その結果O.A機器の導入に走ったり、又メーカー戦略に乗っかってしまってO.A機器の販売に乗り出したりしましたが

これも試し導入。試し販売等の域を出ず「オフコンを入れたが使いこなせない」でホコリをかぶっていると、買ったらずぐに新型が出て、しかも安くなってしまった。もう少し待って居れば良かったとか、色々な試行錯誤やら模策のトンネルを抜け、ようやく只今ではO.A機器の本格実践の段階を迎えたのであります。

O.A電子情報機器の範疇は

- 第1に コンピュータ(オフィスコンピュータ・パーソナルコンピュータ)
- 第2に ワードプロセッサ・P.P.C複写機・電子事務用印刷機等のスタンドアローン機
- 第3は ファクシミリ、多機能電話機等の通信機器
- 第4は これ等の利用の効果向上と人間尊重・職業病防止等の為のO.A内装システ

△O.Aファニチュア等があります。

しかし米国のSBIのレポートでも米国の過去10年間の工場の労働生産性の向上は83%であったが、オフィスのそれは僅かに4%であったと報告して居りますが、今や物を作る方はロボットによる無人工場に象徴される様にその労働生産性は極限に近い迄も高められたのですが、オフィスの方はまだまだです。

生産性は分母に投入量、分子に産出量を置いた分数としてとらえられます。

従って、生産性の測定は量・質・時間共容易なのに比べオフィスの生産性の測定は極めて困難であります。

この効果測定の難易がその儘投資額の決定・投資の優先順位の設定にも大きく作用し、これがO.A機器の導入を遅らせる大きな要因に現在でもなっております。

オフィスの生産性が低いのは事務機器の装備率の低いのが一因であります。

勿論その装備率を高めるだけで総てが解決するかと云うと、それ程万能だとは云えませんが、

今や個々のO.Aスタンドアローン機から総合的システムマシンに、

又通信機の電子化、通信回線の解放・通信のデジタル化やら通信衛星の利用、光ファイバーの発達低価格化によるVAN・INS・LAN等々の大きな変革が、好むと好まざるにかかわらず、それこそ目白押しで、しかも一挙に花を咲かせようとしている今日、

もう「人の使うのを見てから」とかスタンドアローン機一つ採用するのに、メリットはどうか、「今迄無しでやって来たから」とか逡巡して居る時では正にないのです。

幸、昨今はリースが発達しましたので5年リース、3年リース等で機器を所有せずにその効用のみを利用する事が極めて容易になりました。

全社的なシステム的な機械は別として、身近なO.A機器で充分に武装する事が肝要です。

特に現在の若い従業員に精神論や只頑張れとハッパを掛けても余り効果はありません。

対企業忠誠心よりもマイホーム型が年々増加して居ると云うデータがあります。

しかしO.A機器を実際に操作し活用するのはこの人達で、社長ではありません。しかも彼らはすぐ順応し、ゲーム的に充分に活用する能力を持って居ります。

又O.A機器も二極分化して参ります益々安くパーソナルな物と、高度で専門的、インテリジェンスな物とに二方向に進展します。

秒進分歩のO.A機器への対応は単なる省力の為だけではなく、営業に活力を与え、販売促進の戦略武器として縦横に使いこなすべき時代となりました。

経営の要諦が今や人・物・金に情報が加わったり情報にも対価を支払う時代です。

TAXがらみ、で計画的に予想利益の一定割合をO.A機器導入に充当しO.A機器の装備率を向上して頂くことを極めて有効な手段

と考えます。

◇1984～85年度のための国際ロータリー 第260地区協議会開催のご案内

豊川RCがホストとして下記の要領により地区協議会が開催されます。

記

日時 昭和59年6月17日(日)

登録 9:00～9:30

本会議および分科会

9:40～14:30

場所 本会議場：豊川市文化会館

分科会場：豊川市文化会館

豊川市勤労福祉会館

豊川市保健センター

豊川准看護婦学校

参加者 (1)出席義務者

1. 次期クラブ会長

2. 次期クラブ幹事

3. 次期クラブ奉仕委員長

4. 次期会員増強委員長

5. 次期職業奉仕委員長

6. 次期社会奉仕委員長

7. 次期青少年奉仕委員長

8. 次期国際奉仕委員長

以上、8分科合計8名

(2)一般参加者

(2)として参加希望の方は事務局までお申し出下さい。

——尾張第一分区I.G.F.開催報告——

尾張第一分区代理

田中 徹

とき 2月19日(日)

ところ 名古屋都ホテル

出席者 341名

ホスト 半田RC.

今の時代は大衆化社会の量が質を創り出す時代。Share Rotary-Serve Peopleの会員を増強し、一人でも多くの人々にロータリーを分ち合おうの主旨を踏まえ、四つの分科会を持った。

事前に、分区内19クラブには下半期の会員増強計画、新しい奉仕活動への取組み、クラブ運営上の諸問題につきアンケートを依頼。また、新人会員80余名に対しては、努力したい奉仕内容、クラブや先輩会員への要望、理想とするロータリアン像などにつき同様にアンケートを求め、当日の資料とした。

第一分科会(会長、幹事、次期会長)

会員増強については、各クラブがそれぞれ方策を立て、1月末までに最高26名増強したクラブもあり、各クラブとも極めて順調に進行。この鍵となるのは、会員の意識向上と行動であることが強調された。新しい奉仕活動では、インテリジェンス・サービス、青少年との運動実技を通しての奉仕、非行防止、クラブ創立日を記念しての取組みがあった。テリトリーについては、特に問題提起はなかった。

第二分科会(R財団、米山奨学会)

R財団、米山奨学会の現況、さらに寄与率を高めるにはどのような方法があるか、が話し合

われた。

第三分科会 (インターアクト, ローターアクト)

分区として活動が最も停滞している分野であり、リーダー、アドバイザーから基礎的な資格の説明と現況報告をいただき、今後の前進が期待された。

第四分科会 (新入会員)

アンケート結果では95%がロータリー・クラブに入会できて良かったと感じているが、フレッシュな眼で見たクラブの印象では、非活動的であると答えた数例があり、先輩会員に望みたい事として、もっと親しくしてほしい、いろいろ教えてほしい、という意見が多かった。会員増強に応じて同化と教育と親睦の重要性をもとに、活動するロータリアンになるよう指導があった。

最後に、例年、この分区は地区のトップを飾ってI.G.F.を開催しているが、奉仕活動でもトップに立って頑張してほしいとの奥澤ガバナーからの講評があり、成功裡にI.G.F.を終了した。

(ガバナーズレターより)

——— 地区内クラブ別会員増加数 ———

1984年2月末現在

分区	クラブ名	6月末比 増減
尾 張 第 一 分 区	半 田	+3
	半 田 南	+3
	東 知 多	●+4
	名 古 屋	●+19
	名古屋千種	●+5
	名古屋東	+3
	名古屋北	+2
	名古屋名北	●+4
	名古屋名東	-1
	名古屋南	+4
	名古屋港	+2
	名古屋瑞穂	+3
	名古屋守山	+3
	名古屋中	●+6
	名古屋西	●+18
	名古屋東南	●+5
	名古屋和合	●+7
東 海	+2	
常 滑	●+7	
19C	+99	

●印は、会長賞プログラム目標に到達したものを。

◇昭和59年2月度分区別会員数及び出席率

分区	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前会員月数	増減
尾 張 第 一 分 区	半 田	66	94.85	4	66	0
	半 田 南	46	99.42	4	46	0
	東 知 多	48	91.84	3	45	+3
	名 古 屋	226	96.21	4	224	+2
	名古屋千種	52	98.61	4	52	0
	名古屋東	95	99.20	4	93	+2
	名古屋北	98	100.00	4	98	0
	名古屋名北	55	100.00	4	56	-1
	名古屋名東	53	100.00	4	54	-1
	名古屋南	118	99.80	5	118	0
	名古屋港	105	99.75	4	107	-2
	名古屋瑞穂	63	99.20	4	63	0
	名古屋守山	82	99.57	3	81	+1
	名古屋中	100	98.96	4	98	+2
	名古屋西	150	98.95	4	150	0
	名古屋東南	85	100.00	4	85	0
	名古屋和合	83	100.00	5	78	+5
東 海	50	98.80	5	50	0	
常 滑	63	98.02	4	63	0	
19C	1,638			1,627	+11	

——— 第16回ゴルフ会成績 ———

(4/9 川奈C.Cにて)

R	NAME	O	I	G	H ^p	NET
優勝	深見 章	55	54	109	36	73
2位	小坂井盛雄	51	46	97	23	74
3位	成田 良治	48	43	91	15	76
4位	秋山 茂則	46	47	93	16	77
5位	竹内 逸子	60	53	113	36	77
	B.B. 笹野 義春	56	65	121	30	91

(参加 12名)

ゴルフ会発足以来、2度めのゴルフ懇親旅行として今回は川奈C.Cに挑戦しました。

4月8日早朝に名古屋を出発、午後は伊豆を観光し、海の幸料理に舌鼓を打って次の日への活力を蓄え、全参加者準備万端。

当日は富士山も展望できる良い天候に恵まれ、参加者は富士コースへ出発。水野(民)前会長夫人、竹内会長夫人もご参加の楽しいゴルフ会でした。結果は初参加の深見君が勝ち星をあげ、竹内夫人も5位と健闘されました。

5月は25日(金)、多治見C.Cにて行なわれま

すのでふるってご参加下さい。

(ゴルフ会幹事 松居)

◇次回例会(4月24日)

講演 “法窓閑話”

弁護士・元最高裁判事 本山 亨氏

(紹介 西川君)

◇次々回例会(5月1日)

プログラム・ロータリー情報・SAA・ニコボックス各委員会報告